

令和元年 第4回 豊後大野市教育委員会 臨時会 議事録

1 開催日時

令和元年8月5日(月曜日) 午前9時32分開会 午後0時14分閉会 (2時間42分)

2 開催場所

豊後大野市役所 2階 教育委員会室

3 出席者

委員 4名中4名出席

(出席委員等)

教育長 下田 博

1番委員 矢野 憲一

2番委員 羽田野 光江

3番委員 衛藤 恵子(教育長職務代理者)

4番委員 衛藤 栄一

(欠席委員) なし

事務局 6名中5名出席

教育次長 衛本 浩二

学校教育課長 内野宮 俊介

社会教育課長 深田 宏文

学校給食共同調理場長 赤嶺 真一(学校教育課参事 兼)

歴史民俗資料館長 高野 弘之(社会教育課参事 兼)

(欠席者)

図書館長 太田 新子(社会教育課参事 兼) … 公務のため

書記 1名出席

学校教育課 課長補佐兼教育総務係長 麻生 正文

4 付議事項等

議事案件

議案第38号 平成30年度事務事業 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価報告書について

議案第39号 豊後大野市奨学金返還支援基金条例の制定について

議案第40号 豊後大野市公民館条例の一部改正について

議案第41号 令和2年度使用 小・中学校教科用図書 の採択について

5 会議の概要

○出席者報告

衛本教育次長	おはようございます。 それでは委員の皆さまお揃いですので、出席者の報告をさせていただきます。 出席委員4名、欠席委員なし、そして教育長・教育委員会事務局5名の出席で、 図書館長は公務のため欠席です。 それでは、教育長よろしくお願ひいたします。
--------	---

1 開会

下田教育長	それでは、ただいまから令和元年 第4回 豊後大野市教育委員会 臨時会 を 開会します。 (午前9時32分開会)
-------	---

2 議事録署名委員の指名

下田教育長	豊後大野市教育委員会会議規則第17条第2項の 規定に基づき 本会議の議 事録署名委員の指名を行います。 3番 衛藤恵子 委員を指名します。よろしくお願ひします。
衛藤恵子委員	はい(了承)。

3 会期の決定

下田教育長	まず、会期の決定ではありますが、議案等を勘案いたしまして、本日一日限り といたしたいと思いますが、異議ありませんか。
全委員	(「異議なし」の声)
下田教育長	異議なし と認め、本日一日限りと決定します。 本日の付議事項等につきましては、議事案件の本日の付議事項等は、議事案 件 議案第38号 から 議案第41号 までの 計4件です。

4 付議事項等

○議事案件

議案第38号 平成30年度事務事業 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価報告書 について (全課)

下田教育長	それでは、続きまして、議案第38号の審議に入ります。 事務局の提案、教育次長ほか各課長並びに参事の説明を求めます。なお、説 明については、簡潔にお願いします。
下田教育長	教育次長の提案をお願いします。 (教育次長が令和元年第4回豊後大野市教育委員会臨時会資料により提案・別冊資 料「平成30年度事務事業 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価報

	<p>告書]について説明)</p> <p><提案理由></p> <p>平成30年度事務事業の教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価報告書の承認を求めるものである。承認後は、豊後大野市議会9月定例会時に報告するとともに、ホームページによる公表を行うものである。</p> <p>(学校教育課長・学校給食共同調理場長が別冊資料「平成30年度事務事業 決算説明書/事務事業評価シート」について説明)</p>
下田教育長	<p>一端ここで、切らせていただいて、最初に戻ってご質問をお受けしたいと思います。(ページを追って、確認を行った。)</p> <p>財源で、その他については、把握しておいてください。また、学校教育課長は、特に財源が基金になっているものについて把握しておいてください。</p>
内野宮学校教育課長	はい。
下田教育長	事業概要についても気になるところがありましたら、ご質問ください。
全委員	(「はい」の声)
下田教育長	(別冊資料)10ページの課題欄に「就学援助費の認定事務に時間を要する。」とあるのはどういうことでしょうか。
内野宮学校教育課長	件数が多いので、教育委員会で時間を要することです。
下田教育長	教育委員会で時間を要するというのでしょうか。
内野宮学校教育課長	すみません。(対応欄に)「認定事務」と書いておきますので、件数が多いのでデータ処理の入力作業等に時間を要するということです。
下田教育長	この課題があって解決してなくて、この間に前払いとか始まってより大変なのではないですか。
内野宮学校教育課長	そうです。
下田教育長	認定事務の何に時間を要しているのでしょうか。教育次長。教育委員会の議論が長すぎるとかいうことではないですよ。
衛本教育次長	長すぎるとかではないです。
下田教育長	そういう意味ではないですね。議論をしないということにはならないので。課題の修正は間に合いますか。麻生補佐。
(書記 麻生)	微妙です。

下田教育長	もう少ししていねいな表現の方がよいかと思いますが。時間を要するので、やめましょうというのか、だからシステム化した方がよいということなのではないでしょうか。
(書記 麻生)	そういう意味だと思います。申請から決定までの時間が長いということと、事務担当者の負担が大きいということだと思います。その2つの意味合いからきています。
下田教育長	大きな予算を用いて支援をして行く上で、積極的にしていくのであれば、認定事務に時間を要するという課題はまずいと思うのです。間に合うのであれば、少し文言を訂正してもらいたいし、間に合わないのであれば、理由を明確にしてくださいと思います。これは何を意味しているのか、だからやめましょうとは言っていないで。これは少し注意をしてください。他はよろしいでしょうか。
	(声なし) (引き続きページを迫って確認を行った。)
下田教育長	11ページで、対象児童・生徒は減少傾向にあると思うのですが、なぜ予算(決算)が増えているのでしょうか。
内野宮学校教育課長	そこまで、把握できていません。
下田教育長	利用者は減少し、通行路線も減ってきていると思うのです。だけど、決算額は増えています。その、理由を教えてください。
内野宮学校教育課長	分かりました。担当に確認しておきます。
衛藤恵子委員	タクシー代が上がったとか…
下田教育長	燃料費が上がったとか…
衛本教育次長	車庫の建設と車輛の更新だと思います。
下田教育長	では、理由がありますね。
内野宮学校教育課長	1番上の(經常分)スクールバス運行管理事業が、40,903千円から41,295千円に増えているというところだと思ったのですが。
下田教育長	総額でもいいのですが。
内野宮学校教育課長	総額だったら、車庫の建設と車輛の更新です。
下田教育長	根拠を明確に答えていただければそれでよいです。
内野宮学校教育課長	はい。

下田教育長	ただ、来年は明確に利用者数が200人を切ると思うので…
内野宮学校教育課長	そうですね。
下田教育長	その中で、金額でいうと4,000万円かかるという、前年並みであれば…支援・補助を手厚くするということがいいことだとは思いますが、根拠を明確にしておいていただかないと、例えばガソリン代がこれくらい変化しているとかは整理しておく必要があるのではないかと思います。
内野宮学校教育課長	はい。
下田教育長	運行路線・運行方法の見直しを毎年検討して行くということになっていますので、その検討の足跡は今度尋ねられるかもしれません。どのような検討をしてきたのか、その点は確認をしておいてください。
内野宮学校教育課長	はい。
下田教育長	次に、13・14ページに移ります。
衛藤栄一委員	いいですか。
下田教育長	はい、どうぞ。
衛藤栄一委員	今年、「教育支援センターかじか」に訪問させてもらったのですが、老朽化と立替えと用地等についても考えた方が、また入れておいた方がよいのではないかと思います。
内野宮学校教育課長	老朽化ですね。
下田教育長	これは、まだ間に合いますか。麻生補佐。 令和2年度の予算の方向性ですが、機能強化を図って令和2年度が前年並みと書いているのが分からないのですが、増額では…機能強化も図って行き、また老朽化の問題もあるので、前年並みというのは、視点に立っている所がよく分からないのですが…これは教育次長、白蟻と老朽化については市長部局と話しをしているのでしょうか。
衛本教育次長	その後は話しておりません。
下田教育長	いや、この来年度の方向性を出すときに、衛藤栄一委員さんから出た話しは、出しているのでしょうか。
衛本教育次長	まだ、出していないです。
下田教育長	それは、まだ間に合うのでしょうか。

衛本教育次長	当初予算では間に合います。
下田教育長	間に合うのですね。では、その認識は持っておいてください。前年並みということは有り得ないのではないのでしょうか。
衛本教育次長	そうですね。
下田教育長	どういう話しをしてきたか分からないですが。
内野宮学校教育課長	はい。
衛本教育次長	H30年度から本年度は、2,941千円から7,022千円になっていますから、前年並みではないですね。
下田教育長	今年は、5日開室して機能強化を凶ったので、だからこれだけ上がったということで、これだけ機能強化をしましたということが見えるのですが、令和2年度はもっと強化しましょうということなので、しかも建物が老朽化しているということを考えるときに、その辺をどうするのかということが、ここがないと…元年度並の予算要求ですね。認識は。それは、早急に結論を出して、当初に…白蟻はどうだったのでしょうか。
衛本教育次長	全て駆除できました。
下田教育長	やはり、(白蟻は)いたということですね。
衛本教育次長	はい。風呂場の上の天井付近にいたということです。
下田教育長	それは、大変なことですか。
衛本教育次長	いや、施設自体は十分大丈夫だという…駆除すれば5年間の補償はありますし…
下田教育長	そこは、報告を兼ねて、当初予算で考えてください。他にありますか。
全委員	(声なし)
下田教育長	では、次に移ります。 (17ページの)その他は、体育館(開放)の使用料ではないですか。
衛本教育次長	そう思います。全てがそうかは分かりませんが。
(書記 麻生)	全て学校施設の使用料です。
下田教育長	学校教育課長、これはどれぐらい施設開放をしたかは把握しておいてください。

	512千円の根拠を。1時間くらいで貸し付けていると思うのです。おそらくその利益だと思imasので、そういうものはおそらく担当が持っていると思imasので、どれくらい体育館を使用しているのかは資料にもなるので…。
(書記 麻生)	小学校で604件です。その内減免が387件ですから、差引すると217件は使用料をいただいていることになります。大体ですが、中学校も500件ぐらいに対して200件程度減免ですので、300件分は使用料をいただいています。中学校は678千円の収入になっています。23ページです。
下田教育長	分かりました。(順次ページを追って確認を進める。)
下田教育長	20ページで、備品等の複数年計画は本物がありますか。計画案…
内野宮学校教育課長	確認してみます。
下田教育長	これは、準備しておいてください。どういう計画で、備品を購入しているのか、方針もあると思imasので、それに基づいて備品計画を例年並みに作って行くということ…机・椅子は備品になるのでしょうか。
(書記 麻生)	はい。
下田教育長	そういうのを含めると、そういう配置の仕方に変わってきているということでしょう。計画に沿って、今まで学校の積み上げで、学校毎に備品を配置していたのではないのでしょうか。
内野宮学校教育課長	はい。
下田教育長	支援センターが取りまとめて計画的に、机・椅子は5年間で全ての学校に入れるとか、その計画案が基にあるということだと…その計画案を一度、課長の方で認識しておいてください。 (以後、順次、ページ毎に確認を行う)
下田教育長	幼稚園関係ですが、このその他3,426千円は預かり保育料ですか。
(書記 麻生)	保育料と管外の分とかも含まれています。
下田教育長	学校教育課長、こういう数字の根拠は、収入なので、幼稚園なので認識しておかないと、保育料をもらっている人数とどれぐらいの金額になっているか、内訳を含めて…
内野宮学校教育課長	はい。
下田教育長	これは、来年からは0円になりますか。
衛本教育次長	ここは0円ではないと思imas。

	預かり保育は、多少は出ると思いますので。
下田教育長	多少は…300万円はこれから市が持ち出すということ、一般財源が増えるということですか。
衛本教育次長	そうですね。
下田教育長	そういう認識でいいのですね。来年からは、ここが増えるということですけど、それが次年度の方向性で、前年並みとなっているのですが、無償化について触れていないのですが、学校教育課長。
内野宮学校教育課長	無償化をすると、予算ではここに上がってくるということでしょうか。こちらの持ち出しの予算が…
下田教育長	保育料が入ってこないの、ここで、単純計算をするとしたら、340万円が0円になるので、決算のところは…
内野宮学校教育課長	今は、保育料は市が負担していますよね…
衛本教育次長	個人からもらっている分がありますよね。今年はもらっていないですが、4月からは…
下田教育長	今年はこの状態で市が持ち出しているけれども、国が全て国庫で入ってくるので…
内野宮学校教育課長	今年の10月からは…
下田教育長	来年の4月、令和2年度の4月からは一切入ってこないの、令和2年度の予算の方向性は前年並みと書いているのですが、無償化の意識が欠けているのですが、いいのでしょうかということです。令和2年度の方向性は。
内野宮学校教育課長	よくないです。 この分は前年決算でした。
下田教育長	一年前なので、令和2年度からの4月の分が…
(書記 麻生)	予算ですので、財源の話はしていません。予算としての全体の歳出部分はあまり変わらないだろうという、このように書いています。中身の財源の話まで書くのであれば、もう少し上の部分から書かないと、課題と対応部分から記載しないとかならないかと思えます。
下田教育長	課題か対応の所には無償化の文字が入らないといけないと思えます。でないと、全然意識をしていないことになるので…今回平成30年度の事務事業だからということで、触れなかったということでも良いかもしれませんが、どれぐらいの量で、どれぐらい無償化になるか概算は出ていると思えますので、(幼稚園の)保

	育料の無償化により市の持ち出しがいくらになるかの予定の額は意識しておかないといけないと思います。
内野宮学校教育課長	はい。 (順次ページを追って確認を進める。)
下田教育長	その他の135,665千円が、保護者の給食費ですか。
赤嶺学校給食共同調理場長	ほとんどがそうです。5万円ぐらいの廃油売却料が入っています。
下田教育長	ここも決算額が段々増えて行っているの、ここが市の持ち出しということになるのでしょ。
赤嶺学校給食共同調理場長	私もなぜ増えるか見てみたのですが、事業費というのが職員の人件費が入っていないのです。平成28・29年度に調理部門の民間委託を実施しています。職員は減って行ったのですが、反対に委託という事で調理場の事業費は増えています。実際人件費を含めると、下がっていています。28・29年度でいくと、28年度での264百万円は人件費を除いた額ですので、28年度は1億4千万円ぐらい職員人件費があります。29年度は職員の人件費は77百万円程度までになっています。63百万円程そこで人件費が落ちていまして、事業費は33百万円増えているというところで、実際3千万円程度は職員給与費を含めて減っているということになっています。29から30年度においても、30年度の職員人件費は26百万円になっております。事業費は9百万円増えているのですが、人件費では50百万円減っているの、給食全体で考えると、41百万円程度事業費は落ちていることになると考えるのですが、この事業費が人件費を除いての項目になりますので、委託しても落ちていないのではと若干思われるのですが、人件費を含めると少なくなっているというところですよ。
下田教育長	いいです。そこが説明できるようにしておいていただければ、(調理部門を)民間委託して何の特になったかになるので…
赤嶺学校給食共同調理場長	これだけ見たら事業費が増えているということになるので。
下田教育長	そこは…
衛藤栄一委員	いいですか。
下田教育長	はい、どうぞ。
衛藤栄一委員	単純に考えて、マイナスが減ったということを考えて、大きく捕らえたら、その枠の中で給食の無償化ということも考えられるのでしょうか。

赤嶺学校給食共同調理場長	もう一つあるのが、保護者の方が負担していただいている給食費と施設関係は市が負担となっています。三重学校給食共同調理場が18年経っています。西部学校給食共同調理場も13年経っています。今後施設(設備)の更新も考えると、施設の機械類の更新も、そこには特殊な機械なものですから、費用がかかってくると考えたら、その費用を捻出するとしたら、委託によって削減できた財源を無償化に充てるのか、施設の改修に充てることも考えられるかと思います。
衛藤栄一委員	これが、委託して得た成果なので、もう少しアピールしてもいいかと思います。それに充てることを検討したいとかを入れるとかを…すごくいいことなので…
下田教育長	そうですね。 その辺は整理した上で、(調理部門業務の)委託をして3年を経過したので、学校給食共同調理場長、この間の総括を1回した方がいいかもしれません。委託をして、今後どういう方向性で行くのかを、今回の決算における事務事業評価はこれでよいのですが、プロポーザルで新たな所が決定したので、1回3年間の総括をした上で、今の衛藤栄一委員の意見も施設管理に今後どう充てていくのかを含めてした方がいいかと思います。それが、一方で給食費の値上げにも関与してくるのではと思います。 教育次長、その点をよろしくお願いします。いいですか。
衛本教育次長	はい。
下田教育長	では、学校教育課は終わります。社会教育課も今と同じように説明をしてください。 (社会教育課長・歴史民俗資料館長が別冊資料「平成30年度事務事業 決算説明書/事務事業評価シート」について説明)
下田教育長	社会教育課の35・36ページ質問ございますか。 よいですか。
全委員	([「はい」の声])
下田教育長	37・38ページです。
羽田野委員	一つお尋ねしてよいですか。
下田教育長	はい、どうぞ。
羽田野委員	事業概要の中で、地域コーディネーター6名とあるのですが、三重町の校区コーディネーター5名については、どこに計上されているのでしょうか。
深田社会教育課長	校区コーディネーターについては、報酬ではなくて、時間単位の謝金という扱いで、金額が小さいので、ここでは主な支出ですので記載していません。

羽田野委員	はい、了解しました。
下田教育長	決算額に含まれていないということでしょうか。
深田社会教育課長	決算額には含まれています。ここには、大きいものだけということで記載していません。
羽田野委員	決算額の12,885千円の中には含まれていないのですか。
深田社会教育課長	いいえ、含まれています。 事業内容については、主なもののみ計上で、項目はたくさんあるのですが、ここは主なもののみ、金額の大きいもののみ記載させていただいております。(地域コーディネーターの)6名については、月額で人件費が結構掛かっています。三重町の分は時間単位の謝金になっております。金額が小さいので、申し訳ありません。落ちております。
下田教育長	大きいとか小さいとかではなくて、事業概要なので、三重町の記載がないという指摘を受けないように記載したらどうでしょうかという質問なので、それをどうするかで、(金額が)小さいから省きます、でよいのでしょうか。
衛本教育次長	事業概要のところに記載したら、良いのではないのでしょうか。
下田教育長	そうです。事業概要のところで… 今の羽田野委員さんの指摘の件については、そのとおりだと思いますので、記載したらどうでしょうか、金額が小さいからではなくて…
衛藤恵子委員	三重町の分がないのが疑問になるので。
深田社会教育課長	分かりました。私は、決算額のところで考えていました。事業概要については、三重町の校区(コーディネーター)の分も記載するべき…
下田教育長	今回間に合わなければ、来年は意識して入れるということで、よいですか。
深田社会教育課長	そのとおりです。申し訳ありません。
下田教育長	他にはよろしいですか。次に、39・40ページです (順次ページを追って確認を進める。)
下田教育長	文化財については、これは平成30年度の決算ですが、関連して、他の事を含めて質問が十分出る可能性があります。旧緒方庁舎(旧緒方村役場)とか。そういう取り組みについては、どういうふうに事業の中で取り入れて行ったのか、平成30年度は。それはそれとして、予算は使っているわけではないけれども一応認識を持っておいて、これまでの経過をまたいつか教育委員会でも報告していただきたいと思いますけど。

高野歴史民俗資料館長	追加資料をお渡ししてもよろしいでしょうか。
下田教育長	これに関係することでしょうか。
高野歴史民俗資料館長	資料館の事業です。よろしいでしょうか。
下田教育長	はい、どうぞ。 (歴史民俗資料館長が当日配付資料〔ジオパーク活動参加者数 集計〕を提示し、説明する。)
下田教育長	学校教育課長、今度郷土学のときにこの資料を使って、ジオの実施状況を総括して、学校教育の立場でしていただけると… 文化的景観と旧緒方村役場の庁舎とについては、今の取り組みについて一応まとめをしておいてください。
高野歴史民俗資料館長	はい。
羽田野委員	文化財についてよろしいでしょうか。
下田教育長	はい、どうぞ。
羽田野委員	令和2年度予算の方向性は「減額」となっているのですが、この場で言うてよいものかとは思っているのですが、各公民館に文化財がありますが、例えば犬飼公民館では「犬飼港図 <small>(いぬかいこうず)</small> 」です。大変痛んでいて、日に焼けて段々色が落ちているのです。3年前だったかとは思いますが、宇佐の資料館に貸し出したのですが、貸出をした際に県の方がみえて、「これはもう少ししっかりと保管しないとイケない。」と「修理もしなければいけません。」とお言葉をいただいたので、資料館にも連絡を差し上げたのですが、そのままの状態になっていて、今度新しい建物(資料館)ができる際になんとかしていただけないか、他の公民館でも同じような事例があるのではないかということで、是非ともそういうものに来年度は取り組んでいただきたいというのが意見なのですが、大変貴重なものですので、最初に写真を撮っていただいた際には、結構オレンジ色とか、赤い御座船とかに色が着いているのですが、今見るとなかなか色が薄くなっていて大変なのです。結構、犬飼に来られた方が、「犬飼港図」を見られてビックリされるのです。「これと同じ景色が向こうの国道10号線から見えます。」ということで、ものすごくいい資料にはなっているのですが、県の方は、「本物は歴史民俗資料館に保管して、レプリカを作ってもらって下さい。」と言われるのです。裏側は破れたりしているのも、何とか補修もお願いしたいと思うのですが、他の公民館にはそういう文化財は置いていないのでしょうか。「犬飼港図」のような文化財は、大切なものは他の公民館には置いていないのでしょうか。

高野歴史民俗資料館長	今のところ「犬飼港図」だけです。超一級資料が公民館にあるのは。
羽田野委員	そうなのですね。是非とも、「犬飼港図」については配慮していただきたいなど、そういうものは予算要求していただけたらありがたいなと思っております。
高野歴史民俗資料館長	では、相談をいたしますので、ご指示をお願いします。
下田教育長	はい。
羽田野委員	よろしくをお願いします。
下田教育長	また、そういう要望を受けた上で、教育委員会の中の一つの方向性というよりも意見として受け止めて、今後どうするのかの議論をしてください。
深田社会教育課長	教育長、1件だけよろしいでしょうか。
下田教育長	はい、どうぞ。
深田社会教育課長	歴史民俗資料館と一緒にいる私どもも少し関わっています旧緒方村役場の庁舎の件ですけど、現在の議会等の説明の中では現状ということなのですが、状況によっては令和2年度増額になる可能性もありますので、その点だけは補足ということで。
下田教育長	それは、方向性について今議論の最中ということで…
深田社会教育課長	ここには記載できなかったのですが。
下田教育長	議会ではその辺りの質問は出てくる可能性は十分ありますので、今の経緯・経過を含めてまとめは必ずしておいてください。現状を。 では、よろしいですか。 47から50ページまでの図書館についてです。新しい図書館ということで両事業とも増額となっておりますが、よろしいですか。
全委員	(「はい」の声)
下田教育長	では、スポーツ関係です。改修が終わったので、今度予算が減ってくると思いますので。 よろしいですか。
全委員	(声なし)
下田教育長	事務事業の各担当課における分が終わりましたので、「点検・評価報告書」の15

	<p>ページをご覧になってください。今の事業に対して、自己点検評価を1から5の5段階で、総合点検評価をA・B・C・D・Eの5段階評価でしているものです。説明は省略しますので、ご覧ください。</p> <p>その内訳が16・17ページにあります。全体の傾向が書かれています。Aがどれぐらいあるのか、5点がどれぐらいあるのかが、これが全体です。そして、18ページに今後の方向性ということで、事業そのものをどういう形で行うかというものがそこに書かれています。ここで例えば、「かじか」の「教育支援センター運営事業」については拡充と書いてありますが、「事務事業評価シート」では令和2年度予算額は前年並となっていて整合性が取れていない所もあります。「公民館管理運営事業」については見直しというのは、指定管理に入るということでなっているということによいのですかね、教育次長。</p>
衛本教育次長	はい。
下田教育長	「教育振興事業」の見直しは、なぜでしょうか。教育次長なぜでしょうか。
衛本教育次長	(細事業の)「特色ある学校づくり推進事業」とかの事業の整理・見直しをしたいということです。
下田教育長	事業整理したいということですね。分かりました。 では、15ページの評価についてご意見ございますか。
全委員	(声なし)
(書記 麻生)	(15ページ 誤植訂正 「平成 <u>30</u> 年度の教育委員会所管事務 <u>25</u> 事務事業」)
下田教育長	学校教育課長、評価が5から4に下がった「小学校一般管理事業」について理由を教えてください。
全委員	No.7・10・24の3つあります。
下田教育長	では、「小学校一般管理事業」・「中学校一般管理事業」の両方の下がった理由を教えてください。
内野宮学校教育課長	少々お待ちください。 ここは、それぞれ学校の要望に応じて、営繕作業を含めての要望に十分答えられなかったということで、4にしています。
下田教育長	なぜですか。
内野宮学校教育課長	予算の関係とかです。十分にすることができなかった。
下田教育長	見通しがなかったということですか。
内野宮学校教育課長	見通しがなかったというか…

下田教育長	予算の関係ということは、お金が無かったということでしょ。
内野宮学校教育課長	そうです。
下田教育長	ということは、最初から予算計上が漏れていたということでしょ。
(書記 麻生)	そうではないです。
下田教育長	違うのですか。どういうことですか。
(書記 麻生)	予算要求は出しますけれども、学校の要望の量が多くて、財政課査定で削減されますので、学校の予算要望の優先順位をつけますが、学校サイドからすると需要に供給が答えられていないというところで、こちらも考えなくてはいけないということで、反省の意味を含んで、4にしています。一般管理事業・教育振興事業を含めて全体的にですが。
下田教育長	それで、「教育振興事業」が4になっているのですね。
(書記 麻生)	施設だけでなく設備等、全部です。備品等を含めてです。なかなか、要望に答えられていないという厳しい目で。
下田教育長	では、いいですか、学校教育課長。 ということで、4点の理由説明は。
内野宮学校教育課長	はい。
下田教育長	予算が少なかったからと言ったらよくないです。
内野宮学校教育課長	学校の要望が多くなったので、予算が足りなくなったというのとは違うのですね。 ニュアンスは。
(書記 麻生)	要望はあるのですが、こちらも全てには答えられていないということです。予算を付けなかったとはいわないです。
内野宮学校教育課長	予算を付けなかったとはいわずに…
(書記 麻生)	実際には切られていますか…
下田教育長	教育委員会の力がなかったといことでしょうか。
(書記 麻生)	計画的に、こちらが予算の配分を練り直す…
下田教育長	計画的に、例えば100円を一度に90円使ってしまったので、10円しかなくて、どうしようもなかったのではなくて、計画的に20円ずつ使っていく計画性も足りなかった

	という、教育委員会独自もという認識でよいのでしょうか。
(書記 麻生)	本年度、机・椅子の購入を計画的に行うようにしていますが、そのように裏打ちの計画を持たないと財政を説得できないということです。実際に予算も(査定にて)削られています、説得材料が弱いということです。
下田教育長	よいですか。
内野宮学校教育課長	はい。
下田教育長	教育委員会が良くない評価ということで議会に、気をつけた評価で望んでください。
羽田野委員	その時に、「総合点検評価結果」はAになっているのですが、どういう観点で見ればよろしいのでしょうか。(Aは)「優れた取り組みが多く、十分成果が上がっている」という評価のようにあるのですが、今の(自己点検評価結果がH29と比較して)5から4に下がった話を聞くと、少し違うかなとも思うのですが。
下田教育長	それは、この前の内部評価会議の時に根拠があったと思うのですが、それを言ってください。 少し考えておいてください。その前に、社会教育課のスポーツ推進総務事業の(自己点検評価結果が)5から4に下がった理由を先に説明してください。
深田社会教育課長	1つは県体育大会でB部昇格が目標でしたが、C部で3位・総合11位でしたので、B部への昇格ができなかったしC部での位置付けが落ちたということで評価を一つ落としております。来年はなんとかB部に復活をしたいという決意を含めて落とさせていただいております。チャレンジデーが50%の参加率をずっと目標にしているのですが、今年が4.2ポイント落ちましたので、これも来年も頑張らなくてはいけないということで、決意を含めてワンポイント落させていただいております。
下田教育長	少し、待ってください。 社会教育課長、1つ前です。今年ではないのです。チャレンジデーは…昨年も良くなかったということ。
深田社会教育課長	すみません。私、詳細な説明が間違っておりました。 B部昇格ができなかったということでワンポイント、チャレンジデーでも参加率の達成ができなかったということです。
下田教育長	そうすると、先程の羽田野委員さんが指摘いただいた、総合点検評価結果がBというのは正しいということになります。それで、学校教育課はいかがなものですかというご指摘を受けている。社会教育課の理屈からいくとBなのではないでしょうか。そういう指摘に対して…
内野宮学校教育課長	十分でなかったので、(総合点検)評価はBではということ…

羽田野委員	ごめんなさい。言い方が悪かったのですが、Bではないかとは言っていないのですが、A・B・Cのランク付けはどのようにしているのでしょうかとお聞きしたかっただけで、下げてくださいとは言っておりませんので。
下田教育長	社会教育課がそういう認識に立っているとしたら、そこは一貫性を持たせた方がいいかもしれません。社会教育課はAからBに落しているのです。どうでしょうか。自己点検評価結果と総合点検評価結果は違うのかな。
(書記 麻生)	1つは、自己点検評価結果はニーズに応えられていないということでいくらか下げっていますが、その取り組んだ事業自体で見ると概ね達成ができていれば…
下田教育長	Aということ。
(書記 麻生)	ニーズはあるけれども、事業展開の中での行った分では良かったとなればAとなります。そこは、してない部分まで含めて判断するのは少し難しいかと思います。反省の意味を込めて、こういうニーズもあったのだけれども予算化するまで至らなくてすみませんという自己反省でそこ(自己点検評価結果)は4にしているということです。取り組んだ中では、ちゃんと行いましたのでAで、取り組んだ中でも問題があれば1ランク下げてもということになるかと思います。
下田教育長	ということは、(社会教育課)B部昇格・参加率が達成できなくて4だけれども、一方で取り組み方も弱かったのでBということで、納得するということですね。学校教育課はちゃんとニーズに応えられなかったのが4で、しかしその与えられたところではしっかりやったのでAです。 そういう姿で良いのですか、学校教育課は。
内野宮学校教育課長	確認します。
下田教育長	羽田野委員さんのご指摘は、言っていないけどBにした方が…与えられたものは頑張ったという意味で総合点検評価をAで行きたいという思いがあれば、そういうふうに言ってください。どちらでも、今の説明で皆さん納得いただいていると思いますので。
内野宮学校教育課長	では、中では頑張ったので、Aをお願いします。
全委員	(「いいと思います。」の声)
下田教育長	15ページは終わりました、18ページはどうでしょうか。 先程いいました「見直し」についてはそういうことで見直しですが、その他は基本的には「継続」を図っていきたいということです。ただ、今年から外部評価を入れました。(外部評価アドバイザーとして)佐藤さんと佐保さんにこの内容を評価していただきました。いろんなご意見をいただいた中に、ここを教育次長説明していただけますか。外部評価の意見の所を。

<p>下田教育長</p>	<p>(教育次長が、報告書19ページの「外部評価アドバイザーからの意見」の箇所の一部を読み上げて説明する。)</p> <p>「継続」・「拡充」・「見直し」の評価が、毎年同じことになっているので、そこは「見直し」なら「見直し」で、全ての事業に対して検討をして欲しいというのが特に外部評価の中で、評価そのものについては良くなされているけれども、今後事業についてはそういう視点が必要ではないかというご指摘を受けました。これが一番大きなご指摘だろうと思ったので、「見直し」は2つしかないのですが、いかがでしょうかということです。</p> <p>これが、教育委員会が「見直し」にすると、当初予算要求に対して、「見直し」項目についてはいろいろ問題が起きるので、予算を確保するためには「継続」が一番手っ取り早いという発想があると思います。教育委員会として、したがって、ずっと「継続」にしている。教育委員会としては、事業の内容とか取り組み方については、具体的には見直しはしたいのです。だけど、この事業評価に「見直し」を入れると予算カットを受けるのではないかという危惧があるので、事務事業評価の中では「継続」が多いということなのです。そこは、ご理解をお願いします。ただ、この(外部評価アドバイザーの)ご指摘のように、一つ一つの事業については、4月当初に全ての52事業について各課が具体的に方向性を出さないと、「こういう取り組みをする」などが、必要ではないかと思います。それを宿題にさせていただくということで、今回はこのまま外部評価(アドバイザー)の意見をいただくということにしたいと思いますが、どうでしょうか。</p>
<p>衛藤栄一委員</p>	<p>まさしく書いているとおりでと思います。継続性・安定性・スピードって、時代を加味した、すごい評価をいただいていると思います。</p>
<p>羽田野委員</p>	<p>私もそう思います。</p> <p>「継続事業は時に流されがちになるのですが」というのは、的を得ていると思いました。</p> <p>その中でも「今後の方向性」の「公民館管理運営事業」は、指定管理に向けて「見直し」ということでよいですか。</p>
<p>下田教育長</p>	<p>そうですね。</p>
<p>羽田野委員</p>	<p>これはすごく長い経過があって、もう5～6年かかっているのですが、実際にどのようになるのか心配がありますが。その中で公民館の事業については、時に流されがちになっているところもあるので、そういうところ見直して欲しいと思うので、この意見に賛成です。</p>
<p>下田教育長</p>	<p>それでは、外部評価アドバイザーの意見を今年初めて取り入れたのですが、すごく的を得たご指摘なので、これを大事にして来年度以降事業に生かして生きたいと思います。その総括として、20・21ページに今まで話したことを、経過としてまとめましたので、21ページの最後の2行に今年初めて「外部評価会議」を実施したということで、貴重な意見を踏まえて今後取り組んで行きたいというまとめ</p>

	にさせていただきます。 全体をとおしてご意見があればお願いします。
衛藤恵子委員	まさに外部評価アドバイザーの制度を作ったということが、大きな前進につながるのではないのでしょうか。
下田教育長	そうですね。 議会にこのまま提案するとき、説明資料に外部評価アドバイザーの件に触れて、このご意見を取り入れながら事務事業の報告書という形で、議会にご提案をさせていただくということによろしいのでしょうか。
全委員	(「はい・お願いします」の声)
下田教育長	長くなりましたが、この「平成30年度 事務事業 点検・評価報告書」について、他にご意見がなければ、賛否を求め採決をしたいと思います。
全委員	(声なし)
下田教育長	それでは、議案第38号について、委員各位の賛否を求め、採決したいと思いますが、原案どおり決定してよろしいでしょうか。
全委員	(「意義なし」の声)
下田教育長	異議なしと認め、議案第38号 平成30年度事務事業 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価報告書については、原案のとおり決定します。 ありがとうございました。この報告書については、今後文言の修正等を加えまして、この報告書を次の9月の議会で提案・報告します。議会に提出し、議会後には、ホームページに掲載して公表します。

議案第39号 豊後大野市奨学金返還支援基金条例の制定について（学校教育課）

下田教育長	続きまして、議案第39号の審議に入ります。 事務局からの提案を 教育次長、説明を 学校教育課長 お願いします。
衛本教育次長	(学校教育課長が令和元年第4回豊後大野市教育委員会臨時会資料により説明) <提案理由> 奨学金の返還を支援することにより、豊後大野市への若者の移住・定住及び地元就業の促進を図り、もって活力ある豊後大野市を目指すことを目的として条例を制定したいので、この条例案を令和元年9月市議会定例会に提案するため、豊後大野市教育委員会事務委任規則第2条第14号の規定に基づき教育委員会の意見を求めるものである。
下田教育長	ただいま、学校教育課長から説明がありました。先般の全員協議会でご意見をいただきました。8月9日に議会の全員協議会で方向性をご提案させていただき

	<p>たいということです。 この件について、ご意見、ご質問等がありましたらお願いします。</p> <p>(教育次長が令和元年第4回豊後大野市教育委員会臨時会別紙資料により補足説明)</p>
衛藤栄一委員	よろしいですか。
下田教育長	はい、どうぞ。
衛藤栄一委員	(別紙資料にある)正規職員というのはどう捉えたらよいですか。対象者が正規職員というのは。
衛本教育次長	正規職員というのは、パート等で雇用されていないという…
衛藤栄一委員	契約社員はどうなりますか。
衛本教育次長	契約社員は継続されて雇用される確認が必要になると思います。継続して雇用されることでないと、1年の契約社員では、そこに審査がいる…
下田教育長	教育次長、思うではなくて、そういう認識に立っているかを。
衛本教育次長	そういう認識に立っています。
下田教育長	問答集でも、思うではダメです。教育委員会の立場としては、正規職員はこういう条件を満たしている方を考えているというふうに言っていけないと。
衛藤栄一委員	補助期間が5年なので、申請をしたら終わりということではなくて、毎年度追跡調査をするのでしょうか。必ずここで雇用されていて、住民票はこちらで確認できるでしょうか、就労形態が例えばアルバイトだとか、そのような形になってないかチェックするのでしょうか。
衛本教育次長	そうですね。毎年度、確認・追跡調査はします。
羽田野委員	ここでの30歳以下というのは、どういう目的で決められたのでしょうか。
衛本教育次長	新たな若者の定住という面も「返還支援」にはありますので、奨学金を借りて返している年齢が、それぐらいから始まってからその途中ではないかと考えているためです。30歳とかから払い始める人はなかなかいないのではないかと思うのですが。
羽田野委員	私が質問したかったのは、例えば、一端よそに就職をして、大学を卒業して就職しますが、「Uターン」で帰ってきたり「Iターン」でこちらに来たりする例があるかとは思いますが、そういう方が28・29・30歳を超えてこちらに帰ってきて奨学金を払っているのです、豊後大野市に住んでいる方がそういう補助を受けたいというの

	は不可能ということですね。
衛本教育次長	はい。
羽田野委員	例えば、28歳で帰ってきたときは、30歳までは…
衛本教育次長	いいえ、30歳までに帰ってくれば、34・35歳までは…
羽田野委員	受け始めるときが30歳まで…
衛本教育次長	申請が30歳で、31歳では申請が該当しないのですが、30歳で申請をすれば5年間です。
下田教育長	今の質問は問答集に入っていますか。
衛本教育次長	入っていません。
下田教育長	皆さんの質問は、問答集に入れてください。問答集に入れるよい指摘です。非正規職員の扱いについては、それでよろしいですか。
衛藤栄一委員	それは、きちっと文章化すればよいと思います。 それを系統立てて、これは該当するという形にすれば、契約社員に関しても1年契約の方もいらっしゃいますし、複数年の契約の方もいらっしゃいますので、どこまでどう捉えてするか、他市の例などを参考に、きちっと捉えて明文化しておかないと、この人は該当するなどのラインをピシッと取らないと、ここまでは出せませんというのをきちっと書いておかないと…
内野宮学校教育課長	それは要綱で、「正規雇用」というのは、「雇用期間の定めがなく、社会保険、労災保険及び雇用保険に加入している雇用形態をいう。」という表現があるのですが、契約社員は期間がそれぞれあるのでこれには当たらないということになるのでしょうか。雇用期間の定めがなく…
下田教育長	それは、逆に課長が質問しているのでしょうか。少しおかしいです。どちらですか。
内野宮学校教育課長	両方です。 雇用期間の定めがなく…となっているので、この規定(案)では、「雇用期間の定めがなく」と解釈すると、雇用期間の定めのある契約社員は該当しないということになります。
衛藤栄一委員	それは、事務局サイドの感覚ではないですか。これを受ける側の人に対しての明文化した分かり易い文章にしておかないと、申請もいただけない。利用してもらうためにはこれ程いいものはない。皆さんご存じないかも知らないですが、個人事業主の経営者は自分の給料で国民年金を払いながら税金も払ったりしている方もいらっしゃるのです。事業形態、例えば大工さんの弟子とか、本当はダ

	メなのですが、社会保険・厚生年金に入れてあげないといけないのですが、個人事業主と個人事業主で徒弟制度になっている方もいらっしゃるのです。豊後大野市は結構多いので、そうなってくるとその人達は継続してやっていると、給料は親方からもらっているとなったときに、それを雇用契約と見るのか、文章化したときにどうなるのか、微妙なラインが出てくるのです。きちっとしたラインを捉えて、ここの方まで入りますというものを、しっかりして欲しいかなと思います。
下田教育長	いいですか。
内野宮学校教育課長	はい。
下田教育長	今回の条例は、その運用していく基金を作る条例改正です。
内野宮学校教育課長	はい。
下田教育長	その中身をどう運用するかは、まだ時間があるという認識でよいですか。
衛本教育次長	はい。
下田教育長	そういう認識でいいですね。一応今提示する制度は、返還支援制度はこんな形でやろうとしているということで、質問によってはそういうケースがあり得るのだということは、考える余地がまだあるという運用については、その立場は明確にしておいてください。今の時点で、制度そのものをがんじがらめにするのではなくて、9月議会は「基金条例」ということでよいのですね。
内野宮学校教育課長	はい。
下田教育長	基金の準備だけは、9月議会でさせていただきますと、支援制度についてはいつ決定するというのでしょうか。 実施要綱(補助金交付要綱)も合わせてするのでしょうか。別にするのでしょうか。再度教育委員会にかけ直すということでしょうか。
内野宮学校教育課長	はい、そうです。別に、提案させていただきます。
下田教育長	それで、いいですか。教育次長いいですか。
衛本教育次長	今回は基金条例で、再確認は…
下田教育長	できる時間があるということですね。 大変申し訳ないのですが、基金を原資として前の基金を廃止して新しい基金を設置したいという新しい提案になりますので、補助金交付要綱については、まだ実施時期が4月1日ですから10月ぐらいまではまだ内容については検討できるということでしょうか。
衛本教育次長	はい。そうですね。

下田教育長	今、いただいた意見をもう1回整理して、確認してそういうケースがあり得るということなので、考えていただけますか。
衛本教育次長	はい。
下田教育長	ご意見はいろいろとあると思うのですが、今までの基金制度を廃止して新しいものに移行するための基金の原資を確保する条例を今度議会に提案したいということですが、皆さんどうでしょう。そういう方向でよろしいでしょうか。
委員	(「はい」の声)
矢野委員	私は、「三重総合高校の明日を拓く会」を代表していうと、何らかの形で基金を残して、なお且つ新しいものを作るというのが良かったのではないかと思うのです。毎年県庁に行って、生徒の募集定員確保に陳情に行っているわけですから、そういう制度をなくしてしまったら、「えっ、いいの」って感じになるのではないかと思うのですが、その立場としてはどうかと思いますけど、決まれば仕方がないのですが。
下田教育長	その辺については、学校教育課長どうぞ。
内野宮学校教育課長	確かに金銭的な面での支援については、今の1年生で終わってしまうのですが、後ソフト面として中学校と高校の交流を進め、市PTA連合会に働きかけて三重総合高校との定期的な意見交換会などを教育委員会としても来年度の方針に位置付けて、三重総合高校の支援を続けていきたいと思えます。
下田教育長	それはそれでいいのですが、この2つの制度が総括としてどうだったかがまず前提にないと、ものすごくすばらしい制度で支援が成果としてあがっているのであれば、矢野委員さんの意見には答えようがないのですが、その2つ制度では…
内野宮学校教育課長	先程、別紙資料にも書いているのですが、特別奨学金制度については希望者が段々減ってきているということと、それ自体で三重総合高校に進学しようというふうにはそれ程あまり効果は発揮しなかったという認識を持っています。
矢野委員	私は、特別奨学金制度自体は廃止してもいいかなと思いますが、その対応方をもう少し検討して、その中で優秀な子にも返還を免除するかを、例えば高校の推奨する資格を3つ以上取得するとかで免除するとか、その中でいろいろ決めて対応方を残せばいいかなと個人的には思います。
下田教育長	貸与する分には、他の奨学金で十分対応できるという認識を持っています。この(貸付)制度が例えあったとしても、豊後大野市に帰っても帰らなくても返さなくてはいけない制度です。他の奨学金も同じだと思うのです。これで、利子が安くなるとかではなくて、同じ金額を無利子で返すというのは、他の奨学金も同じレベルなのです。いくつかの奨学金は例としては挙げられていますけど今回、し

	<p>かし豊後大野市に帰ってくるという点ではどの制度を使っても2/3を補助として今後もしますということになれば、この制度がないというよりも他の奨学金をどんどん使ってください、帰ってくるつもりがあれば。そういうことなので、三重総合高校に行かなくても他の高校に行ってもあなたが借りた奨学金については今後そういう方向性では、豊後大野市の返還支援制度が活用できますということです。その入学準備金があったから助かったということで、お金をもらえる状態であれば助かったかもしれないけど、現状としては償還をする中で、(その年の)8月から償還なのです。この制度は。それで、今や滞納も増えているというか、この制度をもう少し委員さんがおっしゃるように工夫する余地はあったかも、内容的には。もう少し検討すればよかったかなとは思っていますけど。全体として、この2つの奨学金制度が、三重総合高校の定員確保には全然役割を果たさなかったという総括はさせていただいているということです。</p> <p>もう少し議論をした方がいいということなのでしょうけど、大変急に提案して、すぐに議会に提案させていただきますというのは、無理なところはあるんですけど。</p>
下田教育長	よろしいですか。
矢野委員	はい。
下田教育長	それでは、議案第39号については9月議会に市長の方から提案させていただきたいとおもいますので、委員各位の賛否を求め、採決したいと思います。原案のとおり決定してよろしいでしょうか。
全委員	(「はい、異議なし」の声)
下田教育長	異議なしと認めます。議案第39号 豊後大野市奨学金返還支援基金条例の制定について は、原案のとおり決定します。

議案第40号 豊後大野市公民館条例の一部改正について（社会教育課）

下田教育長	<p>続きまして、議案第40号の審議に入ります。</p> <p>事務局からの提案を 教育次長、説明を 社会教育課長 お願いします。</p>
衛本教育次長	<p>(社会教育課長が令和元年第6回豊後大野市教育委員会臨時会資料により説明) <提案理由></p> <p>清川公民館竣工に伴い、豊後大野市公民館条例に規定する使用料の額について改正する必要があるので、条例案を令和元年9月市議会定例会に提案するため、豊後大野市教育委員会事務委任規則第2条第14号の規定に基づき教育委員会の意見を求めるものである。</p>
下田教育長	ただいま、社会教育課長から説明がありましたが、この件について、ご意見、ご質問等がありましたらお願いします。
羽田野委員	これは、清川公民館だけに当てはまるということによろしいですか。

深田社会教育課長	はい、現在の清川公民館にはこの3つの部屋がございません。これは清川公民館のみです。(部屋が)あるところについては、既に料金設定ができています。清川にはないので、これは清川についての条例になります。
下田教育長	他の公民館と一緒になのでしょ、使用料は。
深田社会教育課長	一緒です。考え方は一緒です。
下田教育長	新しい部屋に対して、清川の対応をさせていただくということです。
羽田野委員	他の公民館は1時間単位がありますよね。
深田社会教育課長	はい。
羽田野委員	これは…
深田社会教育課長	条例については、1時間単位は全館載っていません。
羽田野委員	そうなのでしょうか。
深田社会教育課長	運用の中で時間割をして、料金徴収をしているのですが、公民館条例では半日といいますか、この時間の基準の単位しか条例ではうたっていません。
羽田野委員	1時間単位の運用は、今後廃止していくということでしょうか。
深田社会教育課長	こちらの運用上の規定で時間単位の設定をさせていただいております。料金の徴収をさせていただいているのですが。
羽田野委員	全公民館が新しくなります。そのときには、今までの運用をそのまま継続することでしょうか。条例どおりに運用することでしょうか。
深田社会教育課長	新館ができて時間単位の運用の規定については、そのまま継続していきたいと考えております。今ほとんど時間単位のご利用がメインとなっておりますので。
羽田野委員	そうですね。1時間180円、冷暖房が110円というのは、利用者にとっては非常にありがたい料金設定なので、それはそのまま継続していただきたいなと思っております。以上です。
下田教育長	よろしいでしょうか。
全委員	(声なし)
下田教育長	ご意見等はないようですので、議案第40号について、委員各位の賛否を求め、採決したいと思います。原案のとおり決定してよろしいでしょうか。

全委員	(「はい、異議なし」の声)
下田教育長	異議なしと認めます。議案第40号 豊後大野市公民館条例の一部改正については、原案のとおり決定します。

議案第41号 令和2年度使用 小・中学校教科用図書 の採択について（学校教育課）

下田教育長	続きまして、議案第41号の審議に入ります。 事務局からの提案を 教育次長、説明を 学校教育課長 お願いします。
衛本教育次長	(学校教育課長が令和元年第6回豊後大野市教育委員会臨時会資料及び別紙資料により説明) <提案理由> 竹田地区教科用図書採択協議会において、新規分として小学校の全科目並びにその他の継続分の中学校の令和2年度使用 教科用図書の選定結果が出たことに伴い、豊後大野市立小・中学校で令和2年度に使用する教科書を教育委員会にて採択する必要があるため提案するものである。
下田教育長	ただいま、学校教育課長から説明がありました。中学校については、変更がない(継続)ということで、ご了承いただけますでしょうか。
全委員	(「はい」の声)
下田教育長	小学校については、本当は1教科ずつ教科書会社毎のよさをご説明すべきなのですが、竹田市と意見が食い違くと大変なことになるので、竹田市もこの教科書で行きましょうということになっておりますので、採択協議会の会議で確認をさせていただいておりますので、できましたら次回、教科書のいい所を一覧にしたものを配付していただいて、事後報告になるのですが、そこで教科書の内容についてご確認をさせていただいて、本日はこの教科書で採択をするというご確認ができればと思っております。 (地区教科用図書採択協議会での状況報告があった。)
下田教育長	よろしいですか。
全委員	(「はい」の声)
下田教育長	はい。それでは、令和2年度使用の教科用図書という言い方です。教育次長、教科用図書という言い慣れない言い方です。教科書と通常言いますが、教科用図書という法律用語です。
衛本教育次長	すみません。
下田教育長	いいえ、言い難い表現ですが、そういう言い方になっています。これで、早速に

	10月に来年度からの必要な数を、無償ですので、教科用図書の準備をしていただくということになります。ただ、先生方の指導用図書については、何千万もかかるのですが、これが来年度の当初予算に入るということになります。市町村持ち出しです(市町村単独費用)。国語は、A社の教科書を取って1年生から6年生まで無償で配布されるのですがけれども、学級の先生が指導用の図書を持つのですが、これが高く、これは有料です。その分は市が持つということです。ここも無償にさせていただけるとありがたいと思うのですが、したがって財政の良い所はそれがデジタルになったものを買うのですが、当市は買えない。中学校は買っているのですか。
内野宮学校教育課長	いや、デジタルは、何年か前に市に1つぐらいしかない記憶があります。
下田教育長	では、よろしいでしょうか。
全委員	(声なし)
下田教育長	ご意見等はないようですので、議案第41号について、委員各位の賛否を求め、採決したいと思います。小学校・中学校の教科用図書については、原案のとおり決定してよろしいでしょうか。
全委員	(「はい、異議なし」の声)
下田教育長	異議なしと認めます。議案第41号 令和2年度使用 小・中学校教科用図書の採択について は、原案のとおり決定します。

5 連絡調整

○8月定例会の日程確認について

下田教育長	それでは、連絡調整に入ります。教育次長お願いします。
衛本教育次長	はい、先月の定例会で決定いただきました8月定例会ですが、8月27日火曜日午後1時00分からですので、よろしくおねがいします。7月定例会・県体応援から会議等が続きますが、よろしくおねがいします。 また、8月27日は市長招集の総合教育会議が15:00から開催されます。よろしくおねがいします。 9月26日開催の「豊後大野市自治委員・市議会議員・市農業委員会委員・市教育委員会委員合同研修会及び親睦会の開催」が予定されています。ご参加の程よろしくおねがいします。 以上でございます。
	《 合同研修会について、内容確認及び協議を行った。 》
下田教育長	8月定例会について8月27日午後1時00分でおねがいします。

総合教育会議の開催が午後3時から開催されて、その後懇親会まで参加ということをお願いしたいと思います。詳細については、またご案内します。

《 総合教育会議に対する協議を行った。 》

6 閉会

下田教育長

それでは、これもちまして、本日の日程は全て終了しました。
令和元年 第4回 豊後大野市教育委員会臨時会を閉会します。
ご協力ありがとうございました。

(午後0時14分閉会)